



# 病院NEWS

no. 373  
2015  
07/01



The Hospital News.Faculty of Medicine Kagawa University



香川大学 医学部附属病院 香川県木田郡三木町池戸1750-1 発行人/病院長 横見瀬 裕保

## 血液内科 科長就任挨拶 血液の病気の患者さんに笑顔を!

診療科長 門脇 則光

平成27年4月1日付けで血液内科診療科長を拝命しました。この場をお借りしてご挨拶いたします。  
血液内科では、赤血球、白血球、血小板という血液の細胞の病気を中心に診療しています。たとえば、赤血球が減る(これを貧血といいます)といった病気や、白血病、悪性リンパ腫などの血液のがんと呼ばれる病気があり、これらを6名のスタッフで診ています。

特に、血液のがんといわれる病気が診療の中心になります。これらの病気は「不治の病」という印象をもたれがちですが、そのようなことはありません。元来抗がん剤がよく効くことに加え、数多くの新薬が使えるようになって、治療が格段に進歩しています。また、造血幹細胞移植という専門的な治療もあります。こうしたさまざまな治療を駆使することによって、多くの血液がんの患者さんが完治するようになっています。香川大学の血液内科は、新しくできた南病棟の7階に無菌室を含むベッドを持ち、入院および外来で、あらゆる専門治療によって血液疾患の患者さんを支えています。

また、香川県内のいろいろな病院で血液疾患の診療に携わる医師、看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士など多くの職種の人が集まって定期的に研究会を開き、交流を深めています。このような都道府県は珍しく、この医療スタッフの団結の強さによって、香川県の血液疾患診療の連携がスムーズに行われています。

このように、香川県では、香川大学のみならず県全体で、すべての医療スタッフが協力して、血液の病気の患者さんに笑顔が届けられるよう日々頑張っています。

これからも、香川大学血液内科と、県全体で血液診療に携わるスタッフをよろしくお願いいたします。



▲血液内科スタッフ  
前列右側から2人目 門脇教授

## 第46回国立大学法人診療放射線部門会議開催

放射線部 西山 佳宏

平成27年5月29日(金)かがわ国際会議場において標記部門会議が行われました。

この会議は全国の放射線部部长、診療放射線技師長が国立大学法人病院の放射線診療の現況分析および問題点や将来について検討することを目的に各大学持ち回りで毎年5月に開催することになっています。

今年は香川大学が当番校として会議を計画し、全国から132名の出席がありました。

シンポジウムでは「放射線部門におけるリスク評価(リスクマネジメント)」の共通テーマで看護師、診療放射線技師、放射線科医の立場から「大学間相互チェックの実際と今後の課題」「安全管理」「造影剤の副作用」のタイトルで講演がありその後、活発な討論が行われました。

特別講演は3題用意し、1題は『香川発「希少糖」で世界を健康に』のタイトルで香川大学希少糖研究センター長の徳田雅明先生に、また、『国立大学病院における放射線部の役割と方向性』として神戸大学前病院長の杉村和朗先生に、最後に特別講演3として文部科学省から『大学病院を取り巻く諸課題について』講演をいただきました。

前日に4つの委員会(将来構想委員会・医療安全委員会・医療の質向上検討委員会・情報解析委員会)が行われ、それぞれの委員会で活発に現状と問題点などが話し合われ、その会議内容に基づいて29日に委員会報告がありました。

大学病院における放射線部門は検査や治療になくてはならない存在であり、この放射線診療部門会議を通じて情報共有し、安全で安心な医療を今後とも追及していきたいと考えます。



四国新聞社の記事転載について、ホームページでの公開には  
許諾されていないため、転載記事を除きました。

## イキイキさぬき健康塾 -香川大学病院と最新医療-

「認知症の基礎知識と予防法」

平成27年7月19日(日) 11:00~12:00

丸亀町レッツホール 高松市丸亀町1番地1 高松丸亀町吾番街東館4階

講師:精神科神経科 森 崇洋 病院助教

参加費無料、事前申込不要 問合せ先:総務課 電話:087-891-2008(平日9時~17時)

去る5月14日、15日の2日間、サンポート高松において当科教授横見瀬裕保を会長に、第32回日本呼吸器外科学会総会を開催しました。当日は概ね穏やかな天候に恵まれ、1900名を超える参加者を迎え盛会となりました。総会の準備は2年前の運業者選定に始まり、以後運営事務局と1000通を超えるメールのやり取りや打ち合わせを経て開催にこぎつけました。

総会のテーマは「龍になれ雲自ら従う—それぞれに龍をめざして」。この言葉は武者小路実篤氏が陶芸家の清水六兵衛氏を励ますために送った言葉で、既成概念や時流にとらわれず、それぞれの考えで自由に学問を行い、その分野で一流(龍)になることが重要という意味です。この言葉のとおり、今総会ではIV期肺癌に対する手術適応の是非や積極的縮小手術の功罪といった、これまでの概念を打破し時流に疑問を呈するようなテーマを設定し、発表者や聴衆の方からは「今回だけの議論にとどまらず、今後学会主導などで更に大きなstudyにして欲しい」といった有り難い言葉を多く頂きました。また、会場には横見瀬肝いりの無料うどん試食コーナーを設け、2日間で2000玉のうどんを無料サービスし好評を博しました。

ポスターの龍は当科横田医師の図案をそのまま採用し、全体懇親会および会長招宴の司会、海外招聘者の通訳に至るまで、すべて当科医師のみで行うという手作り感満載の総会でしたが、医局員をはじめ協賛企業の皆様、その他多くの方々のご協力により成功裏に閉会できましたこと、心より感謝申し上げます。

そして何より私自身に「お疲れ様…」。



## 「あばら」の形を治すには

「あばら」という言葉を辞書で引くと「疎(あばら)なる骨の意味。肋骨」という解説がなされています。この意味での「あばら」の変形を生まれつき持っている人は比較的多く、200人ないし300人に1人が胸のかたちについての悩みを持っていると考えられています。胸のかたちが凹んでいる変形は漏斗胸(ろうときょう)、逆に一部が突出している変形は鳩胸(はとむね)と呼ばれています。

こうした「あばら」の形の悩みを持っていても、その悩みについての解決を求めずに、悩み続けておられる患者さんは沢山おられます。多くの患者さんは思春期もしくは青年期にあり、形についての悩みを吐露することが恥ずかしい年頃であることも一因ですが、「いったい誰に相談したらよいかかわからない」というのも大きな原因となっているようです。

胸のかたちを治す治療は、長足の進歩を遂げています。過去の手術においては胸の正中に大きな切開を加えたのちに、肋骨や胸骨をいったん分解し、それを再び組み立てる方式がとられていました。しかし最小限の皮膚切開で、変形の強い部分に対してのみ手術操作を行う技術の開発が急速に進んだため、現在においては以前とは比較にならないほどの入院期間および身体的負担で、「あばら」の形の修正を行うことができるようになっています。

とはいえ、同じく「あばら」の変形とは言っても、患者さんに応じて変形のパターンが千差万別にわたります。良い結果を出すためには、こうした差異を考慮した上で治療を行わなくてはなりません。香川大学病院形成外科においては、工学技術を応用した手術シミュレーションの技術を開発し、個々の患者についてオーダーメイドの治療計画を立てた上で、最良の結果を出すプロジェクトに取り組んでいます。またその取り組みをホームページにおいて公開し、全国の患者さんに向けて情報を発信しています。「あばら」の形にお悩みの方は、ぜひご相談ください。詳しくは当科のホームページをご覧ください。

<http://www.med.kagawa-u.ac.jp/~keisei/index.html>

毎日新聞「四国健康ナビ」H27.4.7掲載分を一部改稿いたしました。

## 既設棟改修工事が本格的始動へ

### 病院再開発推進室

5月2日、東病棟では東1階東、東2階、東6階の3病棟でそれぞれ西7階西、西3階、西4階への患者さん移送が行われ、病棟移転が完了、東病棟が空きました。続いて、5月29日に外来中庭に仮設外来棟が完成しました。仮設外来棟は軽量鉄骨造2階建てで外来待合い廊下に接続しています。仮設外来棟は、来年度から始まる外来棟改修時に工事対象区域から診察室等を仮移転するために建設されました。外来棟改修が開始されるまでの間は検査部の生理検査部門やスタッフ諸室などの仮移転先として利用されます。

いよいよ本格的に既設棟の工事が始まります。最初の工事範囲は東病棟全体、東西病棟地下（改修後は厨房になります）と中央診療棟2階検査部周辺の一部となります。改修工事期間中は皆様に大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解ご協力のほど何卒よろしくお願いいたします。



▲5月2日実施の東病棟からの患者移送



▲6月1日の病院長による仮設外来棟内覧

## 臨床研究に関するご案内

### 医学部倫理委員会委員長 医薬品等臨床研究審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院では、診療に伴って取得した患者さんの貴重な個人情報を含む記録や尿・血液等の検査試料、生検組織（内視鏡検査で検査のために採取した組織等）又は摘出組織等の試料が発生します。

それら記録試料等を本院は、医療機関としてだけでなく、教育研究機関として所定の目的に利用させていただきたいと思っておりますので、患者さんのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

前向き研究（研究を立案、開始してから新たに生じる事象について調査する研究）に患者さんの情報を利用する場合は、書面により患者さんの同意をいただくことといたします。後向き研究（過去の事象について調査する研究）の場合は下記URL に示しております。

利用目的の中に同意しがたいものがある場合は、1階外来ロビー内個人情報相談窓口または各診療科までお申し出ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用することに対して同意が得られたものとさせていただきます。

●臨床研究に関するご案内URL <http://www.med.kagawa-u.ac.jp/hosp/about/rinsyo/>

## イベントカレンダー H27.7月 予定表

月日	時間	場所	名称及び内容	担当	連絡先
7/1 水	18:30~	外来診療棟1階 玄関ホール	第9回七夕コンサート	医事課	(087)891-2053
7/19 日	11:00~12:00	丸亀町レッツホール高松市丸亀町1番地1 高松丸亀町老番街東館4階	イキイキさぬき健康塾—香川大学病院と最新医療— 「認知症の基礎知識と予防法」	総務課	(087)891-2008

## 看護職員募集

### 中途採用者随時募集

助産師・看護師免許を有し、夜勤が可能な方

お問い合わせ先 087-891-2320(看護管理室)

### 編集委員会 (50音順)

荒井(検査)、一條(経営)、小野(総務)、  
加藤(放射線)、白神(麻酔)、中妻(看護)、  
濱本(外来)、芳地(薬剤)、松本(看護)、  
村上(病棟)、横井(情報)、横山(管理)、  
吉野(医事)

〔委員長 横見瀬病院長〕